

支所001	項目名	河原町総合支所管理費	
予算書項目	庁舎管理費	ページ	29
年度	R元	所属名 河原町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所地域振興課 0858-76-3111		
款 総務費	【10次総の施策体系】4201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 河原町佐貫地内の県道本鹿高福線は、散岐小学校の通学路であるが歩道のない狭隘な区間となっており、かねてから道路管理者である鳥取県にバイパス工事の要望を行ってきたところである。 その結果、県において、平成26年に事業採択となり、測量・設計、用地交渉等が進められてきたが、バイパス計画区間に支障となる市有施設があり、令和元年度から2年度にかけて移転（解体）を完了する必要が生じたものである。		
目 財産管理費	【事業の内容】 バイパス工事の施行のため、移転（解体）対象となる散岐倉庫内の不用品の処分を行うもの。		
(単位：千円)	【その他】 ※その他財源の諸収入は、移転補償費。		
補正前額	16,795		
要求額	3,650		
総務部長段階査定額	3,650	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,650	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	3,650
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	3,650		
一般財源	0		
計	3,650		
行財政改革課処理欄			

支所002	項目名	地域おこし協力隊事業費	
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	29
年度	R元	所属名 用瀬町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-87-2111		
款 総務費	【10次総の施策体系】3302		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 用瀬町地域においても人口減少と少子高齢化が進行し、地域の活性化や民俗文化の継承の危機が叫ばれている。毎年旧暦3月3日に行われる民俗文化「流しびな」は、伝統行事としてまた「流しびなの里もちがせ」の観光資源としての魅力を有しているが、制作技術の承継等が困難になっており、また、観光資源としての特性を活かしたPRや体験活動が十分に確立されているとは言い難い状況である。 積極的に「流しびな」を観光資源として、技術の承継や観光客誘致を持続可能な取組として推進する。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 新市域振興ビジョンに「歴史・文化の継承」を掲げ、伝統文化を資源として技術継承し、さらに観光資源としての活用に資する。世代間交流や担い手育成等により、魅力ある地域活性化へつなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 制作技術の習得、活用に取り組む地域おこし協力隊（1名）の10月1日採用に伴い、人件費等の地域おこし協力隊の活動経費を決算見込みとするもの。		
補正前額	3,418		
要求額	△ 1,636		
総務部長段階査定額	△ 1,636	その他財源の内訳	
市長段階査定額	△ 1,636	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	△ 1,636		
計	△ 1,636		
行財政改革課処理欄			

支所003	項目名	鹿野城跡公園管理費
-------	-----	-----------

予算書項目	公園管理費	ページ	57
-------	-------	-----	----

所 属 名	鹿野町総合支所 産業建設課
-------	------------------

年度	R元
----	----

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	公園管理費

(単位：千円)

補正前額	3,613
------	-------

要求額	4,532
-----	-------

総務部長段階査定額	4,000
-----------	-------

市長段階査定額	4,000
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	4,000
計	4,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要
<p>【問合せ先】 鹿野町総合支所産業建設課 0857-84-2012</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【事業の経過及び背景】 戦国時代末期から栄えた鹿野城の城郭遺構を市民の憩いの場、観光レクリエーション、歴史文化教育の場として公園整備した鹿野城跡は、春には県内有数の夜桜の名所、秋には紅葉が楽しめる場所として多くの観光客が訪れている。 公園内には、鹿野学園前に赤く塗装した木製の橋が架かっており、夜桜見物のスポットとして多くの観光客で賑わい、景観に大きな効果をもたらしているが、老朽化により欄干の腐食が進んでおり、公園利用者、鹿野学園の児童・生徒の安全上、修繕等の対策が求められている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 鹿野城跡公園内にある木製の橋について、花見客など多くの観光客が訪れる4月までに腐食が進んでいる欄干を付け替えることで、安全、安心な憩いの場を市民及び観光客へ提供する。</p> <p>【事業の内容】 鹿野城跡公園木製高欄の修繕（L＝6.9m）</p>